



「平成26年度 朝日町予算説明書」

朝日町総務課

平成26年度

# 朝日町予算説明書



朝日町総務課

# 目 次

◎ 平成26年度 一般会計予算の概要	1
◎ 町民生活と地域経済を守る緊急対策	2
◎ 事業別予算説明	
1. 信頼とつながりにより地域の力をつくる「地域力の向上」	
1-1 地域を支える人材の育成	3
1-2 郷土愛を育む活動の推進	3
1-3 未来を担う子ども達の教育環境づくり	6
2. 安定した暮らしができる産業をつくる「産業力の向上」	
2-1 地域特性を活かした農業の産地力の強化	8
2-2 まちに活力を生み出す産業の創出	10
2-3 地域の宝物を活用した交流・観光の推進	12
3. 安心と魅力のある定住環境をつくる「定住力の向上」	
3-1 みんなで支える子育て環境の整備	13
3-2 健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備	17
3-3 安全安心で、快適な環境の整備	19
◎ 平成26年度の主要な施策一覧（一般会計）	25
◎ 平成26年度 当初予算額（会計別総括表）	28
◎ 一般会計予算額（決算額）の推移	29



# 平成26年度 一般会計予算の概要

## 平成26年度実施計画基本方針

強みを活かした産業力の推進により、さらなる交流とにぎわいを創出するとともに、子育て世帯が安心できる定住環境と教育環境を整え、自信と誇りにあふれた活力ある町をつくる

### (1) 地域力

- ア 未来を担う子どもたちの教育環境づくりの推進
- イ 郷土愛を育むための環境づくりの推進
- ウ 地域の特性を活かした信頼の地域づくり
- エ 地域を支える人材の育成

### (2) 産業力

- ア 豊かさを実感できる農業振興の展開
- イ ものづくり産業の充実
- ウ 観光・交流を推進するための体制整備

### (3) 定住力

- ア 子育て世帯を支える定住環境の整備
- イ 町民の健康増進と生きがいづくり
- ウ いのちと暮らしを守る安全・安心な地域の構築
- エ 循環型地域社会の構築

・平成26年度は町制施行60周年を迎え、新たな一步を踏み出す節目の年として、まちづくりの基本指針となる、「第5次朝日町総合発展計画」の推進及び町の直面する課題の解決に向け、「平成26年度実施計画基本方針」に掲げた重点テーマに沿った優先度の高い施策を積極的に実施する。

・引き続き、効果的な事務事業の推進等の行財政健全化の方策を着実に実行し、確実に予算編成に反映させる。

(千円)

### (1) 第5次朝日町総合発展計画を実現するための3つの柱に行財政資源を集中

○ 信頼とつながりにより地域の力をつくる	【地域力の向上】	423,822
○ 安定した暮らしができる産業をつくる	【産業力の向上】	491,333
○ 安心と魅力のある定住環境をつくる	【定住力の向上】	1,562,874

## 1. 予算規模 48億6,700万円

(平成25年度当初 46億6,000万円、 比較増減 2億700万円 (4.4%) )

## 2. 歳入について

### ○一般財源

(単位：千円、%)

	26年度	25年度比較増減		備考
		額	率	
町税	568,279	17,236	3.1	
地方交付税	2,220,000	▲10,000	▲0.4	地方財政計画に基づく推計による
臨時財政対策債	161,000	▲9,000	▲5.3	地方財政計画に基づく推計による
財政調整基金繰入金	241,024	48,794	25.4	
その他(譲与税、交付金他)	241,997	7,611	3.2	地方財政計画に基づく推計による
一般財源総額	3,432,300	54,641	1.6	

### 3. 町民生活と地域経済を守る緊急対策

(千円)

#### ■普通建設事業の堅実な実施

- 地域の事業者の受注機会を確保する 988,242

#### ■雇用対策

- 緊急雇用対策 24,200
  - ◆地域人づくり事業等を活用し、事業者が行う雇用を支援する
- 新規学卒就業者奨励金 300
  - ◆町内に就業する新規学卒者に対して、3万円を給付する

#### ■地域産業への緊急支援

- 持家住宅支援事業 28,100
  - ◆持家住宅建築奨励金、住宅リフォーム総合支援事業補助金、木材製品利用住宅建築奨励金、をあわせると、持ち家住宅の建設工事（新築、増改築、修繕等）に対して、最大で100万円の助成金を交付
- 商工業融資制度保証料補給金 2,400
  - ◆セーフティネット保証への対応
- 商店街活性化対策 2,400
  - ◆地域振興券（20%プレミアム付等）への補助

#### ■安全安心な町づくり

- 消防施設等の整備事業 32,550
  - ◆耐震性貯水槽、消防ポンプ、消火栓、消防団無線（デジタル化）整備他
- 橋梁長寿命化 40,500
  - ◆滝ノ沢橋、石須部橋、古槇橋の長寿命化修繕他

# 1. 信頼とつながりにより地域の力をつくる

## 「地域力 の向上」

### 基本方針 1-1：地域を支える人材の育成

～地域課題を自ら捉え、やる気と挑戦する人をつくる～

#### ☆ 地域を支えるリーダーを育てる取り組み

#### 「Newアクション応援事業」

(担当：教育文化課)

活力と魅力あるまちづくりのための学習や研修をしたい、イベントを企画し開催したいなど、新しい取り組みに一步ふみ出す意欲あるグループの学習や活動を支援します。



#### 主な経費

・運営補助金 拡充

245万円

#### 財源内訳

・町の負担（一般財源）

245万円

### 基本方針 1-2：郷土愛を育む活動の推進

～地域に自信と誇りを持つ人を育てる～

#### ☆ みんなで考え支え築くコミュニティづくり

#### 「地域活動促進事業」

(担当：政策推進課)

地域の創意と工夫を活かした「元気な地域づくり」をめざす自治活動を応援し、地域の特徴にあった事業や活動の展開に向け交付金等で支援します。

#### 主な経費

・地域提案型交付金（民家等の雪対策含む）

1,350万円

・除雪費支給事業

130万円

#### 財源内訳

・町の負担（一般財源）

1,480万円

## ☆ みんなで考え支え築くコミュニティづくり

## 「地域づくり推進事業」

(担当：政策推進課)

特色ある地域づくりを応援し、町が一緒になって地域づくりを考え取り組めるような相談窓口を運営します。また、地域づくり活動を応援する制度のメニュー化や地域づくりを担う人材の研修に取り組みます。

## 主な経費

- ・地域づくり研修、地域支援職員担当事業、集落調査など 183万円
- ・地域活動支援（地域連携活動、地域づくり計画・実践活動支援など） 543万円
- ・朝日町協力隊事業（緑のふるさと協力隊・地域おこし協力隊）増額  
1,308万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・町の負担（一般財源） 2,034万円

## 「和合地区都市再生整備計画事業」

(担当：建設水道課)

和合地域の振興を目的とした地域交流センターの建設等に着手します。

## 主な経費

- ・和合地区都市再生整備計画事業 2億3,974万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・国の補助 9,250万円
- ・町の借金（過疎債） 1億4,050万円
- ・町の負担（一般財源） 674万円

## ☆ 一人ひとりが町を好きになる取組み

## 「エコミュージアム推進事業」

(担当：政策推進課)

朝日町の様々な魅力がこめられた「朝日宝物がたり」を基に、町を題材としたまちの宝物カルタの企画、町の案内人の会やNPO朝日町エコミュージアム協会との協働による宝モノガタリの活用などに取り組んでいきます。

## 主な経費

- ・宝物がたり普及事業 12万円
- ・エコミュージアムルーム運営業務 200万円
- ・エコミュージアム紀行の開催など 14万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・町の負担（一般財源） 226万円

☆ みんなで考え支え築くコミュニティづくり

「町制施行 60 周年記念事業」

(担当：政策推進課)

朝日町は昭和 29 年 11 月 1 日に、大谷村、宮宿町及び西五百川村が合併して誕生し、平成 26 年に町誕生から 60 周年を迎えます。

町制施行 60 周年の記念すべき年を迎えるに当たり、町をあげてその足跡を振り返り、町民のみなさんとともに祝い盛り上げ、未来への確かな展望と希望に満ちた記憶に残る記念事業を実施します。

記念事業は、朝日町を町民、町外に向けてさらに発信する機会とします。

○町主催事業

- ・ 記念式典
- ・ セツ浜ミュージカルグループ N a N a 5 9 3 1 公演
- ・ NHK ラジオ第 1 「民謡をたずねて」公開録音 ほか

○町民自主企画事業補助

町民（団体・事業所を含む）が自主的に企画・実施する記念事業を募集し、60 周年記念にふさわしい事業に対し補助金を交付して実施を支援します。

**主な経費**

・ 町制施行 60 周年記念事業 **新規** 600 万円

----- 財 源 内 訳 -----

・ 町の負担（一般財源） 600 万円



平成 16 年度に実施された町制施行 50 周年記念式典

**基本方針 1-3：未来を担う子ども達の教育環境づくり**

～心身のたくましい健やかな子どもをみんなで育てる～

☆ 子どもに合った教育の場の確保・応用力ある確かな学力を育てる

**「学力向上支援事業」**

(担当：教育文化課)

一人ひとりの児童・生徒に対するきめ細かな教育を支援し、知識や技能、思考力等の総合的な学力の向上を図ります。

**平成26年度学級編成一覧表(予定)**

H26.3.11現在

学校名	児童・生徒数							学級数
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
西五百川小学校	9	7	11	13	8	13	61	6
宮宿小学校	31	29	25	26	31	27	169	7
大谷小学校	13	13	11	7	13	23	80	7
朝日中学校	60	53	54				167	7

**主な経費**

- ・ 学力向上推進事業（特色ある学校づくり補助金） 150万円
- ・ 学習生活指導補助員等の配置 720万円
- ・ 教育研究所運営 150万円
- ・ 英語指導助手（ALT）招致事業 487万円
- ・ 小学校パソコン更新 **新規** 2,000万円
- ・ 宮宿小学校屋根補修 **新規** 290万円

----- 財源内訳 -----

- ・ 町の負担（一般財源） 3,797万円



☆ 地域、家庭の教育力向上への支援

**「あさひ教育の日」推進**

(担当：教育文化課)

町民一人ひとりの教育に対する関心と理解を深め、家庭、学校及び地域社会の連携の下に、より一層の教育の充実と発展を図るため、11月1日を「あさひ教育の日」と決めました。毎年10月、11月を「あさひ教育月間」とし、重点的に取り組みます。

**主な経費**

・「あさひ教育の日」推進 30万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源） 30万円

☆ 安心して教育が受けられるための支援・教育内容にあった施設整備

**「奨学金貸与事業」**

(担当：教育文化課)

経済的理由で高等学校及び大学等での就学が困難な生徒・学生の教育を受ける機会の拡充のため、奨学金を貸与します。

◎貸与の額

- ・高等学校に在学する者 月額2万円以内
- ・高等学校以外の学校等に在学する者 月額4万円以内

**主な経費**

・奨学金貸与事業 2,513万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（朝日町奨学基金） 2,000万円

・町の負担（一般財源） 13万円

・奨学金返還金 500万円

## 2. 安定した暮らしができる産業をつくる

### 「産業力 の向上」

#### 基本方針 2-1：地域特性を活かした農業の産地力の強化 ～朝日町ブランドづくりを進める～

☆ 安全安心・美味しい日本一の「りんご」づくり

#### 「高品質りんご生産緊急対策事業」

(担当：農林振興課)

樹木の高齢化と品種構成の偏りによる品質低下を抑え、「朝日町りんご」の更なるブランドづくりを行うため、ワイ化改植による優良品種への更新について支援します。

#### 主な経費

・高品質りんご生産緊急対策事業 増額 500万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源） 500万円

○補助対象品種

シナノスイート、秋陽、ファーストレディ等の

奨励品種

○その他

詳細については、担当までお問合せ下さい。



☆ 「安全安心米」づくり「清流美人」等のブランド化、販売促進の支援

#### 「ブランド米生産・販売促進事業」

(担当：農林振興課)

人工衛星を利用し、刈り取り前に良質米を厳選した「あさひ清流美人」のブランド確立を図るため、生産技術の向上及び販売促進を支援します。

#### 主な経費

・ブランド米生産・販売促進事業 149万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源） 149万円

☆ 農業の担い手の育成

「後継者・新規就農者支援対策事業」

(担当：農林振興課)

研修制度や生活支援及び就農条件の整備など、新規就農者等が安心して就農できる総合的な支援体制づくりを図ります。

主な経費

・受入れ農家への研修受入助成	36万円
・研修期間中の家賃補助	12万円
・新規就農者生活支援	30万円
・農業大学校授業料補助	24万円
・就農条件整備支援	200万円
・農地利用集積補助	30万円
・青年就農給付金補助 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">増額</span>	2,700万円
・研修生受入協議会補助	10万円
・経営体育成支援	410万円
・若手農業者研修補助	10万円

----- 財 源 内 訳 -----

・県の補助	2,940万円
・町の負担（一般財源）	522万円

「農業新分野等支援事業（農家提案型補助事業）」

(担当：農林振興課)

農業団体や認定農業者・新規就農者等が行う、農業分野での先進的な取り組みとなる事業や新技術導入事業など、町農業振興のモデルとなる事業について支援します。

主な経費

・農業新分野等支援事業	200万円
-------------	-------

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源）	200万円
-------------	-------

《支援例》

- 花木通年栽培普及支援
- 施設園芸新規作物導入支援
- 果樹栽培新技術導入支援



**基本方針 2-2：まちに活力を生み出す産業の創出**

～多様な連携による産業集積と創造的 [ものづくり] を進める～

☆ 既存企業の振興

**「商工業活性化対策事業」**

(担当：総合産業課)

既存企業の活動支援、まちの産業産物が一堂に会する産業まつりをはじめとしたイベントの実施、優れた技術をもつ町内企業の雇用応援、設備投資支援など、まちを元気にする商工業者を応援します。

**主な経費**

・産業力向上社員等スキルアップ研修事業補助	35万円
・緊急雇用確保対策事業	720万円
・販路拡大対策事業	50万円
・町商工会指導事業	350万円
・産業まつり <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">増額</span>	130万円
・商店街活性化対策事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">増額</span>	450万円
・事業振興協議会補助	17万円
・産業立地促進奨励金	406万円

----- 財源内訳 -----	
・町の負担（一般財源）	2,158万円

**「新規学卒就労者奨励金支給」**

(担当：総合産業課)

就業と町内事業所の雇用確保を支援するため、町内に就業する新規学卒者に対して3万円を支給します。

**主な経費**

・新規学卒就労者奨励金支給	30万円
---------------	------

----- 財源内訳 -----	
・町の負担（一般財源）	30万円



☆ 新たな事業創出への支援・育成

**「新事業経営安定対策事業」**

(担当：総合産業課)

朝日町の地域資源を活用した付加価値の高い特産品開発等による新たな事業の立ち上げに対し、引き続き奨励金を貸与します。

**主な経費**

・新事業経営安定対策事業 200万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源） 200万円

**《奨励金の貸与と返還》**

対象経費総額の50%以内で100万円を限度に奨励金として貸与します。

貸与期間が終了した時点でその事業を継続している場合は、奨励金の返還が免除されます。

**「朝日町産業創造推進機構支援事業」**

(担当：総合産業課)

地元の素材を活用した新たな雇用の場の創出を目的に、人材育成や新商品開発等による起業支援を行っている「朝日町産業創造推進機構」に対し、事業運営のための補助金を交付するものです。都市生活者と信頼関係を築くための交流から販路開拓へ、また、起業された方への経営安定化に向けた支援等も行います。



**主な経費**

・朝日町産業創造推進機構運営補助 1,100万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源） 1,100万円



**基本方針 2-3：地域の宝物を活用した交流・観光の推進**

～地域資源や「食」の活用と、情報発信力を強化する～

☆ 観光振興体制の充実

**「朝日町観光協会職員体制整備事業」**

(担当：総合産業課)

交流人口の拡大を目指し、町の観光情報の収集や発信、また観光資源の調査や観光ソフトの開発などを更に充実させるため、観光協会に「観光振興推進員」と「事務局員」を配置し、観光振興体制の充実を図ります。

**主な経費**

・観光協会職員人件費補助等 **増額** 1,157万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源） 1,157万円

☆ 観光交流受入体制の充実

**「観光施設整備振興事業」**

(担当：総合産業課)

地域資源を活用した交流観光による経済活性化を進めるため、総合交流拠点施設整備に着手します。

**主な経費**

・総合交流拠点施設整備事業（敷地造成・建設工事等） 2億4,221万円

----- 財 源 内 訳 -----

・国の補助 7,500万円

・町の借金（過疎債） 1億4,160万円

・町の負担（一般財源） 2,561万円

☆ 観光交流情報の収集・発信体制の充実

**「地域情報発信力強化事業」**

(担当：政策推進課)

町の良さや魅力を伝え、朝日町の認知度とイメージの向上を図るため、効果的な広報・宣伝活動を展開します。また、住みたい、訪れたい町になるよう朝日町全体のブランド化推進に取り組みます。

**主な経費**

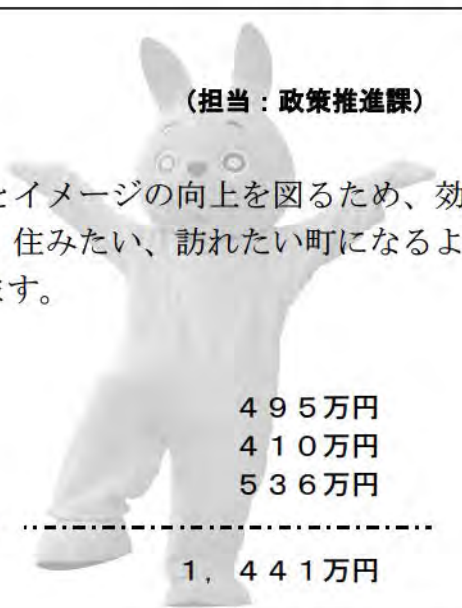
・ブランド戦略推進事業 **新規** 495万円

・情報交流推進員活動事業 410万円

・情報交流アドバイザー活動事業 536万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源） 1,441万円



### 3. 安心と魅力のある定住環境をつくる

#### 「定住力」の向上

##### 基本方針3-1：みんなで支える子育て環境の整備

～働いている親も安心して子育てのできるまちづくりを進める～

#### ☆ 子育てを支える多様な仕組みづくり

##### 「保育園等運営委託事業」

(担当：健康福祉課)

通常保育のほか、早朝・延長保育に土曜保育など、多様化する保育ニーズへの迅速な対応と子育て世代への支援強化を図るため、民間活力を生かしたより良い保育園運営を目指し、社会福祉法人「あさひ会」へ運営を委託します。また、仕事などで保護者や家族の方が、昼間家庭に不在となる児童等に対しては、「放課後児童クラブ」を開設します。

##### 主な経費

- ・あさひ保育園
- ・子育て支援センター
- ・放課後児童クラブ
- ・通園バス運行等

運営委託 **増額** 1億5,740万円

##### 財源内訳

- ・県の交付金 400万円
- ・利用者の負担（保育料等） 2,856万円
- ・町の負担（一般財源） 1億2,484万円

※一般財源には消費税引上げ分の地方消費税交付金を含む

##### 「あさひ保育園」平成26年度入所児童数（予定）

3歳児未満	3歳児	4歳児	5歳児	計
25	36	37	55	153



☆ 子育てを支える多様な仕組みづくり

「出産祝品支給事業」

(担当：健康福祉課)

出産に祝意を表するとともに、出生子のすこやかな成長を願い、町内の商店・企業と協力して祝品を贈呈します。

主な経費

・ 出産祝品 50万円

----- 財 源 内 訳 -----

・ 町の負担（一般財源） 50万円

☆ 子育てにかかる経済的負担の軽減

「中学生以下医療費完全無料化事業」

(担当：健康福祉課)

子育て支援として、中学生までの医療費に係る自己負担について町で助成し、完全無料化とします。

ただし、入院時の食事代や差額室料など自費負担のものは該当しませんのでご注意ください。

主な経費

・ 子育て支援医療給付費 2,614万円

・ 子育て支援医療審査支払 143万円

----- 財 源 内 訳 -----

・ 県の負担 576万円

・ 町の負担（一般財源） 2,181万円

○手続きの流れ

役場に医療証の ⇒ 医療機関の窓口へ ⇒ 受 診 ⇒ 費用精算の際に  
 交付を申請 保険証とともに提示 助成



☆ 子育てにかかる経済的負担の軽減

「児童手当支給事業」

(担当：健康福祉課)

中学 3 年生までの子どもの保護者に、下記のとおり手当を支給します。

- ・ 3 歳未満 15,000 円
- ・ 3 歳以上小学生以下 10,000 円 (ただし、第 3 子以降は 15,000 円)
- ・ 中学生 10,000 円
- ・ 所得制限を超える世帯 5,000 円

主な経費

- ・ 子どものための手当支給 9,096 万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・ 国の負担 6,306 万円
- ・ 県の負担 1,391 万円
- ・ 町の負担 (一般財源) 1,399 万円

「第 2 子以降 (3 歳児以上) の保育料の軽減」

(担当：健康福祉課)

子育て支援として、平成 19 年度から第 2 子以降 (3 歳児以上) の保育料を 5,000 円に定額化しています。(3 歳未満児は対象外です。)

影響額

- ・ 5,000 円定額化による保育料の軽減総額 1,649 万円

「各種予防接種助成事業」

(担当：健康福祉課)

任意の予防接種のうち、4 つのワクチンに対し一部費用助成を行い、感染症の予防と重症化を防ぎます。



主な経費

- ・ 18 歳以下インフルエンザワクチン接種助成 120 万円
- ・ おたふく風邪、水ぼうそうワクチン接種助成 40 万円
- ・ 高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成 40 万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・ 町の負担 (一般財源) 200 万円

## ☆ 健やかな出産を迎えるための支援

## 「妊婦健康診査助成事業・特定不妊治療費助成事業」 (担当：健康福祉課)

子育て支援として、無料妊婦健診受診券交付を 14 回分とします。これにより、経済的負担を軽減するとともに、妊婦健康診査の受診を推進し、母体や胎児の健康確保を図ります。

また、基本的な検診項目の他にも、子宮頸がんの検査や白血病の母子感染を防ぐための検査なども助成を行い、受けやすい環境をつくっています。

さらに、高額な費用が必要な特定不妊治療に対する助成を行い、治療を受けやすい環境をつくります。

## 主な経費

・ 無料妊婦健診受診券交付 (14 回分)	324 万円
・ 妊婦健診償還払補助	8 万円
・ 特定不妊治療費助成 <b>拡充</b>	200 万円

----- 財源内訳 -----	
・ 町の負担 (一般財源)	532 万円

## ☆ 地域で支える子育て環境の整備・充実

## 「放課後こども教室の開設」

(担当：教育文化課)

放課後の子どもたちの安全安心な居場所を確保するため、「放課後子ども教室」を引き続き開設します。

## 主な経費

・ 放課後子ども教室	146 万円
------------	--------

----- 財源内訳 -----	
・ 県の負担	84 万円
・ 町の負担 (一般財源)	62 万円

## ☆ 独身者の婚活に対する支援

## 「結婚支援事業」

(担当：政策推進課)

結婚を望む独身者に対し、出会い・結婚につながるサポート体制を充実させ、地域全体で結婚活動を後押しする取り組みを実施します。

## 主な経費

・ 朝日町婚活推進連絡会議負担金	80 万円
・ 仲人成婚奨励金 <b>新規</b>	100 万円

----- 財源内訳 -----	
・ 町の負担 (一般財源)	180 万円

## 基本方針 3-2：健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備

～生涯現役で活躍できる健康な人を増やす～

## ☆ 地域医療の充実

## 「朝日町立病院運営費」

(担当：町立病院)

町民の皆様に、質の高い思いやりのある医療・保健・福祉を提供いたします。

## 主な経費

・町立病院収益的収支	8億 580万円
・町立病院資本的支出	7,340万円

## ----- 財源内訳 -----

・病院会計	6億4,149万円
・病院会計の負担（借金・病院債）	110万円
・国の補助（国保調整交付金）	382万円
・国の補助（交付税）	1億9,385万円
・町の負担（一般財源）	3,894万円

## 「ドクターヘリ受入態勢整備」

(担当：健康福祉課)

ドクターヘリの臨時離着陸場（ランデブーポイント）における支援のための態勢と環境を整備します。

## 主な経費

・ドクターヘリ支援業務	69万円
・ランデブーポイント整備 <b>新規</b>	1,050万円

## ----- 財源内訳 -----

・国の補助（地域の元気臨時交付金）	1,050万円
・町の負担（一般財源）	69万円

## 「看護師等人材確保対策（修学資金貸与事業）」 (担当：健康福祉課)

将来において朝日町立病院で看護師または薬剤師として勤務しようとする方に対し、その修学に必要な資金を貸与することにより、人員の確保と充実を図ります。

## 主な経費

・看護師等人材確保対策（修学資金貸与事業） <b>増額</b>	300万円
---------------------------------	-------

## ----- 財源内訳 -----

・町の負担（一般財源）	300万円
-------------	-------

☆ 地域における支え合い：高齢者自立生活支援システムの整備

「高齢者の安全、生きがい活動支援」

(担当：健康福祉課)

緊急時対策に加え、社会福祉協議会や民生児童委員等、推進機関との連携を図り、各種教室や元気クラブなど、楽しみながら健康で社会参加できる高齢者の生活を支援する活動を進めます。



主な経費

・社会福祉協議会運営	増額	1,230万円
・シルバー人材センター補助		145万円
・民生児童委員活動費等助成		390万円
・長寿クラブ助成、福祉バス運行委託等	増額	465万円

----- 財源内訳 -----

・県の負担	282万円
・町の負担（一般財源）	1,948万円

介護保険特別会計で行っている主な事業

高齢者が在宅で自立した生活ができるようにするため、①要介護状態になるのを予防する、②要介護状態になっても悪化しないようにするため実施する事業です。

- ①介護予防事業 595万円（ぴんしゃん教室、みんなで骨々サロン、介護予防教室、元気クラブ、高齢者訪問等）
- ②包括的支援事業 99万円（総合相談事業、ケアマネージャー支援）
- ③任意事業 552万円（紙おむつ支給事業、介護者交流会、配食サービス、認知症サポーター養成講座）

☆ 安心して暮らせる環境整備

「高齢者住宅調査等委託事業」

(担当：健康福祉課)

高齢になっても安心して朝日町で暮らせるよう高齢者住宅の整備を進めます。

平成28年度実施予定の高齢者住宅の建設に向けて、平成26年度は現地調査等を行い準備を進めていきます。

主な経費

・高齢者住宅現地調査等業務委託	新規	100万円
-----------------	----	-------

----- 財源内訳 -----

・町の負担	100万円
-------	-------

**基本方針 3-3：安全安心で、快適な環境の整備**

～地域ぐるみの支え合いと、生活を支える基盤をつくる～

☆ 災害に備える基盤整備や地域防災体制の確立

**「木造住宅簡易耐震診断助成事業」**

(担当：建設水道課)

大規模地震に備え、木造住宅の耐震診断を希望する住宅の所有者に対し、町で耐震診断士を派遣し、その費用の一部を負担します。

■ 診断士派遣費用 6万円 (1棟当たり)

【負担割合】

- ・町の負担 (9割) 54,000円
- ・所有者負担 (1割) 6,000円

**主な経費**

- ・木造住宅簡易耐震診断委託 (10戸分) 60万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・国の負担 27万円
- ・町の負担 (一般財源、※所有者負担分6万円含む) 33万円

☆ 快適で多様な住宅環境の整備

**「持家住宅支援事業」**

(担当：建設水道課)

自ら居住する持家住宅の50万円以上の建設工事(新築、増改築、修繕等)に対し、助成金を交付します。また、町内に建築された木造住宅(新築及び増改築)に対し、助成金を交付します。最大で100万円の助成となります。



**主な経費**

- ・町持家住宅建築補助 **増額** 2,000万円
- ・県住宅リフォーム支援補助 600万円
- ・木材製品利用住宅建築補助 150万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・県の負担 600万円
- ・町の負担 (一般財源) 2,150万円

**助成制度**

① 持家住宅建築奨励補助金 (限度額50万円)

町内建設業者との契約に限ることとし、費用の10%以内を補助します。

② 木材製品利用住宅建築奨励補助金 (限度額30万円)

町内製材業者から納入し使用するもの、または町内建築業者施工のものに限り、国内産木材製品額の40%以内を補助します。

③ 住宅リフォーム総合支援事業補助金 (限度額20万円)

県内建設業者との契約に限ることとし、費用の10%以内を補助します。

☆ 快適で多様な住宅環境の整備

「生活排水処理事業」

(担当：建設水道課)

町では、大谷地区を除く町内全域に合併処理浄化槽設置を推進し、多様な助成制度等を設け普及促進を図り、快適な排水処理環境確立に努めます。

主な経費

・合併処理浄化槽設置補助 **増額** 2,141万円

財源内訳

・国の負担 366万円

・県の負担 260万円

・町の負担（一般財源） 1,515万円

各種助成制度の一例

①合併処理浄化槽設置補助金

5人槽…55万円、7人槽…68万円、10人槽…95万円

②単独浄化槽廃止補助金(10万円)

単独浄化槽から合併浄化槽に切替工事をした場合、10万円を補助します。

③若者定住奨励金(5万円)

合併処理浄化槽を設置した年度において、夫婦の一方が40歳未満、または18歳以下の扶養者が1名以上の世帯

☆ 快適で多様な住宅環境の整備

「町営住宅建設事業」

(担当：建設水道課)

町では、現在5団地80戸の町営住宅を管理していますが、高い入居率を維持しているため、入居を希望しても入居できない状態が続いています。

朝日町に住みたい方に対して、安い家賃で良質な住宅を提供するために、町営住宅を6戸整備します。

主な経費

・町営住宅建設事業 1億6,258万円

財源内訳

・国の負担 6,750万円

・町の負担（借金・公営住宅建設事業債） 2,800万円

・町の負担（一般財源） 6,708万円

☆快適で多様な住宅環境の整備

「定住対策事業」

(担当：政策推進課)

転入を促進できる環境づくりを推進するため、空き家バンクの充実、定住に関する各種補助金等を交付するとともに、住宅団地分譲を促進します。

主な経費

・空き家利用促進奨励金	50万円
・定住支援助成金 拡充	390万円
・空き家改修補助金	120万円
・空き家バンク登録促進補助金 新規	9万円

----- 財 源 内 訳 -----

・県の負担	40万円
・町の負担（一般財源）	529万円

「空き家バンク」の目的



近年、朝日町に空き家が目立ってきております。一方、団塊の世代の退職田舎暮らしブームなどもあり移住の問合せが増えてきております。このようなことから、町内の空き家を社会資本と捉え、有効に活用することで移住を促進し、併せて地域の活性化を目的とするものです。

※詳細は政策推進課 空き家バンク担当までお問い合わせください。

各種助成制度の一例

①空き家利用促進奨励金

空き家バンクを介し空き家に移住され、6か月以上経過した方に10万円を交付します。

②空き家改修補助金

空き家バンクを介し売買もしくは賃貸借契約をされ、空き家の改修工事を行う場合は、その費用の1/2（上限30万円）を助成します。

☆ 安全で便利な交通環境の整備

「山形直行バス運行事業」

(担当：政策推進課)

山形直行バスは、山形市内の高校等に通学している生徒の保護者の経済的・時間的負担の軽減と、通学・通勤・通院等の利便性向上を図るため、運行いたします。

【主な経費】

・山形直行バス運行経費 981万円

----- 財 源 内 訳 -----

・国の負担 157万円  
 ・利用者の負担（運賃） 276万円  
 ・町の負担（一般財源） 548万円

【利用料金】

乗車1回あたり	大人（高校生以上）	小人（中学生以下）	小学生未満
	500円	250円	無料

(単位：円)

定期券の種類	通 学				普 通			
	片道定期		往復定期		片道定期		往復定期	
		平日限定		平日限定		平日限定		平日限定
1 箇月	7,000	6,000	13,000	12,000	9,000	8,000	17,000	16,000
3 箇月	20,000	17,000	37,000	34,000	25,500	22,500	48,000	45,000
6 箇月	36,000	31,000	67,000	62,000	46,000	41,000	87,000	82,000
1 年	70,000	60,000	130,000	120,000	90,000	80,000	170,000	160,000

※往復定期券に限り、山交バス寒河江宮宿線の寒河江バスターミナルから朝日町役場前までの区間が利用できます。

【運行時刻】 (抜粋)

往 路 (朝日町 → 山形市) 月～土				復 路 (山形市 → 朝日町) 月～金			
バ ス 停		3月～11月	12月～2月	※土曜日は運行しません			
		時刻	時刻	バ ス 停		時刻	
乗車 専用	太郎公民館	6:33	6:23	乗車 専用	山交バス本社前	18:10	
	朝日町役場前	6:42	6:32		山形駅西口	18:15	
降車 専用	山形駅西口	7:35	7:32		山形市役所前	18:20	
	山形市役所前	7:48	7:48		北山形駅	18:28	
	北山形駅	8:00	8:00	降車 専用	朝日町役場前	19:21	
					太郎公民館	19:30	

☆ 安全で便利な交通環境の整備

「デマンドタクシー “あいのり号” 運行事業」

(担当：政策推進課)

町民が目的地から目的地まで安全・安心に移動できる公共交通システムとして、デマンドタクシーの運行を行います。ただし、山交バスの運行区域を除きます。

**主な経費**

・ デマンド型交通運行経費 **増額** 1,938万円

----- 財 源 内 訳 -----

・ 国の負担	348万円
・ 利用者の負担（運賃）	385万円
・ 町の負担（一般財源）	1,205万円

**【運行日】**

■ 月曜日から金曜日の平日に運行します。

※土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12月31日～1月3日）の運行はありません。

**【運行時刻】**

● 上り（各地区発、宮宿行き）

① 午前 8 時                      ② 午前 9 時 30 分                      ③ 午後 1 時  
④ 午後 3 時                      ⑤ 午後 4 時 45 分

● 下り（宮宿発、各地区行き）

① 午前 8 時 45 分                      ② 午前 11 時                      ③ 午後 0 時 15 分  
④ 午後 2 時 30 分                      ⑤ 午後 4 時

※乗車人数や運行経路が毎回異なりますので、時刻表は目安となります。また、予約が無い場合は運行しません。

**【利用料金】**

○ 全区間 1 回 400 円。

○ 小中学生、障害者手帳所持の方は 200 円、幼児は無料です。

※12枚綴りの回数券（4,000円）も発行いたします。

○ 1 日乗車券 1,000 円。（利用日 1 日に限り何回でも利用できます。）

**【予約方法】**

- ・ 受付は予約センターで行います。
- ・ 予約は運行時刻の 30 分前まで可能です。
- ・ 平成 26 年度から、受付時間は平日の午前 7 時から午後 5 時 30 分までとなります。

**【予約センター電話番号】          67-2173**



☆ 安全で便利な交通環境の整備

「町道整備事業・町道維持補修事業」

(担当：建設水道課)

町道の維持補修や整備を計画的に進めます。



主な経費

・町道維持補修	4,630万円
・町道橋維持補修	4,050万円
・町道整備（県道整備町負担金1,000万円含む）	1億4,720万円

----- 財源内訳 -----

・国の交付金	1億 140万円
・町の負担（借金・過疎債）	7,180万円
・町の負担（借金・辺地債）	1,000万円
・町の負担（一般財源）	5,080万円

☆ 循環型地域社会の構築

「空気のふるさと推進・菜の花活用循環型推進事業（菜の花プロジェクト）」

(担当：税務町民課・農林振興課)

町のシンボルである「澄んだ空気」を大切に守り、地球温暖化防止のため、環境基本計画に基づき、空気のふるさと推進事業に取り組みます。

また、環境意識が高まる中、耕作放棄地を利用し栽培した菜の花から、菜種油を採取し学校給食等に利用し、使用済みの廃油から再びバイオディーゼル燃料にリサイクルする取り組みを通じ、循環型環境意識の醸成を図ります。

主な経費

・空気のふるさと推進事業	43万円
・環境学習の実施、菜種油成分検査等	46万円
・住宅用太陽光発電システム設置事業費補助金	60万円

----- 財源内訳 -----

・町の負担（一般財源）	149万円
-------------	-------



平成26年度の主要な施策一覧 (一般会計)

(千円)

■信頼とつながりにより地域の力をつくる 【地域力の向上】 423,822

○みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト

～ 人材育成や学びの環境づくり、コミュニティづくりを通じて、町民の皆さんと行政や企業、団体など多様な担い手がともに考え、ともに築くまちづくりをすすめます。～

◇地域を支える人材の育成「Newアクション応援事業・日本の次世代リーダー養成塾参加補助」	拡充	2,650
◇郷土愛を育む活動の推進		
§一人ひとりが町を好きになる取り組み		
◆エコミュージアム推進事業(エコミュージアムルーム運営)		2,372
◆文化振興事業(創遊館ホール活用事業等)	増額	3,960
◆スポーツ振興事業(朝日ふれあいスポーツクラブ他)	増額	1,200
◆町制施行60周年記念事業(町民提案型)	新規	5,000
§みんなで考え支え築くコミュニティづくり		
◆地域提案型交付金、除雪費支給事業、集落除雪応援事業		17,932
◆朝日町協力隊事業	増額	13,077
◆志藤六郎村おこし基金を活用した地域のシンボルづくり等への助成		3,000
◆都市再生整備計画事業(地域交流センター建設等)	増額	239,748

○みんなで育てる子ども成長プロジェクト《将来を担う子どもたちの教育環境づくり》

～ 安心して教育を受けることができる環境を整えて、学校と地域と家庭が協力して、自ら未来を切り開くたくましい朝日っ子を育てていきます。～

§子どもに合った教育の場の確保・応用力ある確かな学力を育てる		
◆子どもの実態に応じたきめ細かな指導(学習指導員の配置)	増額	7,200
◆各学校における学力向上への支援		1,500
◆教育環境の充実(各小学校パソコン更新)	増額	20,000
◆英語力の向上(英語指導助手の配置、英語学習会の開催)	拡充	5,206
§地域、家庭の教育力向上への支援。		
◆家庭、学校、地域一体の子育て推進		570
◆「あさひ教育の日」推進		298
§安心して教育が受けられるための支援・教育内容にあった施設整備		
◆奨学金貸与事業		25,130

■安定した暮らしができる産業をつくる 【産業力の向上】 491,333

○こだわりのある農業をつくるプロジェクト《地域特性を活かした農業の産地力強化》

～ りんごを中心とした農業は、まちの基幹産業です。全国的にも評価の高い朝日町のりんごづくりやブランド米づくりを支援します。新規就農や新分野の導入などを行う農家を支援し、魅力ある農業をつくり、担い手の確保育成を推進します。～

§安全安心・美味しい日本一の「りんご」づくり		
◆高品質りんご生産緊急対策(新ワイ化導入促進)	増額	5,000
◆りんご輸出拡大対策		2,000
§園芸作物や米などのブランド品づくり		
◆「清流美人」等の米ブランド化、販売促進の支援		1,490
◆ブランド品維持支援事業(ぶどう棚設置・苗木補助)		2,000
◆朝日町ワイン高品質化プロジェクト事業	新規	5,000
◆和合大堰整備事業(県事業の負担金)		2,940
§農業の担い手の育成		
◆後継者・新規就農者の支援対策	増額	34,316
◆農家提案型補助事業		2,000

## ○みんなが活躍するものづくりプロジェクト《まちに活力を生み出す産業の創出》

～ 既存企業の活動の支援、まちの産業産物が一堂に会する産業まつりをはじめとしたイベントの実施、優れた技術をもつ町内企業の雇用応援、設備投資支援など、まちを元気にする商工業者を応援します。～

～ 新しい事業の創出を目指して、町外に向けては企業誘致に関する情報の収集・発信に努めます。また、町内に向けては商品開発から販路確保など積極的に起業に向けた支援を実施します。～

### § 既存企業の振興

◆産業力向上社員等スキルアップ研修事業補助金(海外研修、中小企業大学校受講補助)		350
◆緊急雇用確保対策事業	増額	7,200
◆販路拡大対策事業		500
◆町商工会指導事業、商業活性化対策事業補助	増額	8,000
◆商工業融資制度保証料補給金		2,400
◆緊急雇用対策事業・地域人づくり事業	新規	17,000
◆新規学卒就労者奨励金支給		300

### § 新たな事業創出への支援・育成：「場」のブランドづくり

◆朝日町産業創造推進機構運営補助		11,000
◆新事業経営安定対策		2,000
◆企業立地促進奨励金		4,060

## ○みんな温か交流・観光プロジェクト《地域の宝を活用した交流・観光の促進》

～ 交流・観光の推進を図るため、地域の観光資源の再確認と整備をすすめ、誰もが訪れたいくなる朝日町をつくっていきます。観光振興推進員を配置し、他地域に負けない観光を目指します。これらの取組みをわかりやすく魅力的に広くアピールしていくため、情報発信を推進します。～

◆ブランド戦略推進事業	新規	4,947
◆情報交流推進員・アドバイザー活動事業		9,456
◆観光振興体制の充実(観光協会負担金・補助金等)	増額	12,565
◆総合交流拠点施設整備事業(拠点施設建設等)	増額	242,207
◆観光施設整備事業		10,650

## ■安心と、魅力のある定住環境をつくる 【定住力の向上】 1,562,874

### ○みんな支え合うこどもいっぱいプロジェクト《みんなを支える子育て環境の整備》

～ 働いている親も安心して子どもを育てていけるよう、子育て支援対策を実施します。無料妊婦健康診査や医療給付事業など経済的な負担の軽減を図ります。統合保育園に子育て支援センターを併設し、子育て相談や情報交換の場を設けます。放課後子どもプランの実施など安心安全な子育て環境の整備を行います。～

#### § 町民が安心して利用できる安全な子育て支援拠点施設の整備・活用

◆保育園等運営委託(あさひ保育園、子育て支援センター、放課後児童クラブ、通園バス運行)	増額	157,400
◆子育て総合支援事業(出産祝金、子育て支援事業計画策定他)	増額	9,859
◆特別支援学校就学支援(送迎または補助)		3,956

#### § 子育てに係る経済的負担の軽減

◆第2子以降の保育料軽減(5,000円定額)、2人目以降減額		16,488
◆中学生以下の医療費完全無料化		27,570
◆妊婦健診の無料化(14回分)		3,317
◆特定不妊治療助成	増額	2,000
◆18歳以下のインフルエンザワクチン接種費用の助成		1,195

#### § 地域で支える子育て環境の整備・充実

◆放課後子ども教室の実施		1,457
◆結婚対策事業(仲人成婚奨励金)	新規	1,000

§ 高校通学に困らない交通手段の確保		
◆山形市直行バスの運行(復路2便化検討に向けた実証運行)		9,810
◆バス定期券(宮宿～寒河江)購入に対する50%助成		1,890
○みんな達者でにこにこ元気プロジェクト《健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備》		
～ 町民の皆さんが、生涯を通じて健康でにこにこ元気に生活していくことができるよう、健康づくり、健康維持、医療、福祉を町、町立病院が連携して支援して行きます。～		
§ 健康づくりと健康チェックの充実(検診事業、健康相談指導事業等)		30,784
§ 安心して暮らせる環境整備		
◆第6期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画策定	新規	2,500
◆高齢者住宅調査	新規	1,000
◆社会資源コーディネーター事業	新規	2,000
§ 地域医療の充実		
◆在宅当番医制・休日診療等		2,976
◆ドクターヘリ受入れ態勢整備(ヘリポート整備他)	新規	11,288
◆朝日町立病院運営補助(地域医療基盤の維持・強化)		232,786
◆看護師等人材確保対策(修学資金貸与事業)		3,000
§ 地域における支え合い: 高齢者自立生活支援システムの整備		
◆長寿クラブ助成、シルバー人材センター運営補助、福祉バス運行委託等	増額	4,514
○安らぎのある自然に優しいまちづくりプロジェクト《安全安心で、快適な環境の整備》		
～ 住、交通、情報など生活基盤の整備、自然資源の保全保護、環境に優しいまちづくりを通じて快適な生活環境の整備を進めます。基盤整備や地域の取組みの推進を通じて安全で安心なまちづくりを進めます。～		
§ 災害に備える基盤整備や地域防災体制の確立		
◆消防ポンプ、耐震性貯水槽、消火栓、消防団無線(デジタル化)等整備事業	増額	32,550
◆安全安心な生活確保事業(自主防災施設整備補助、高齢者・障害者に優しい避難所整備補助)	拡充	3,000
§ 快適で多様な住宅環境の整備		
◆生活排水処理事業(合併処理浄化槽の設置補助)	増額	21,556
◆持家住宅建築奨励事業(持家住宅建築助成、木材製品利用住宅助成、リフォーム支援補助、木造耐震診断)	増額	28,100
◆空き家利活用事業補助金(改修、清掃等)	拡充	1,790
◆町営住宅建設事業		162,581
◆定住支援交付金	拡充	3,900
§ 安全で便利な交通環境の整備		
◆デマンド型乗合タクシー運行事業(土曜日運行検討に向けた実証運行)		19,384
◆高齢者免許証返納補助		200
◆町道等整備		182,100
◆除雪機械整備事業	新規	19,186
§ 循環型地域社会の構築(空気のふるさと推進、菜の花活用循環型産業実験事業)		
◆空気のふるさと推進、菜の花活用循環型産業実験事業		889
◆再生可能エネルギー推進事業(太陽光発電設備補助)		600

平成26年度 当初予算額（会計別総括表）

（単位：円、％）

会計の別		区分	当初予算額		比較増減		
			平成26年度	平成25年度	予算額	率	
一 般 会 計			48億6,700万	46億6,000万	2億700万	4.4	
		うち他会計からの繰入	0万	0万	0万	0.0	
		うち他会計への繰出	5億1,459万	5億3,069万	△1,610万	△3.0	
特別会計	集落排水事業特別会計		2,200万	2,330万	△130万	△5.6	
			うち一般会計からの繰入	201万	201万	0万	0.0
	国民健康保険特別会計		10億7,010万	10億3,680万	3,330万	3.2	
			うち一般会計からの繰入	8,131万	9,654万	△1,523万	△15.8
	介護保険特別会計		9億6,792万	9億4,370万	2,422万	2.6	
			うち一般会計からの繰入	1億6,285万	1億6,417万	△132万	△0.8
			うち一般会計への繰出	0万	0万	0万	0.0
	後期高齢者医療特別会計		7,712万	7,764万	△52万	△0.7	
			うち一般会計からの繰入	3,309万	3,336万	△27万	△0.8
			うち一般会計への繰出	0万	0万	0万	0.0
企業会計	病院事業会計	収益的収支	8億580万	7億8,290万	2,290万	2.9	
		資本的支出	7,340万	7,200万	140万	1.9	
		うち一般会計からの繰入	2億3,279万	2億3,303万	△24万	△0.1	
	水道事業会計	収益的収支	1億6,740万	1億5,500万	1,240万	8.0	
		資本的支出	8,200万	1億1,750万	△3,550万	△30.2	
		うち一般会計からの繰入	254万	239万	15万	6.3	
<b>総 額</b>			<b>81億3,274万</b>	<b>78億6,884万</b>	<b>2億6,390万</b>	<b>3.4</b>	
会計間のお金の出し入れを除いた正味の総額			76億1,814万	73億3,815万	2億7,999万	3.8	

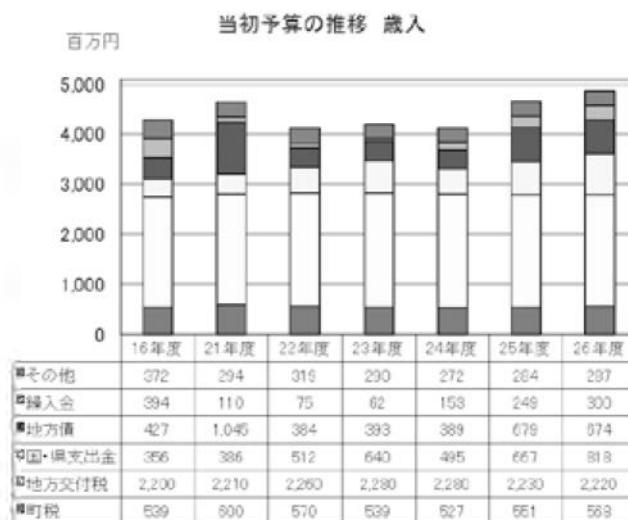
# 一般会計予算額（決算額）の推移

## 1. 一般会計当初予算の推移・概要

○平成26年度予算規模 48億6,700万円  
 (前年度比較2億700万円、4.4%の増)

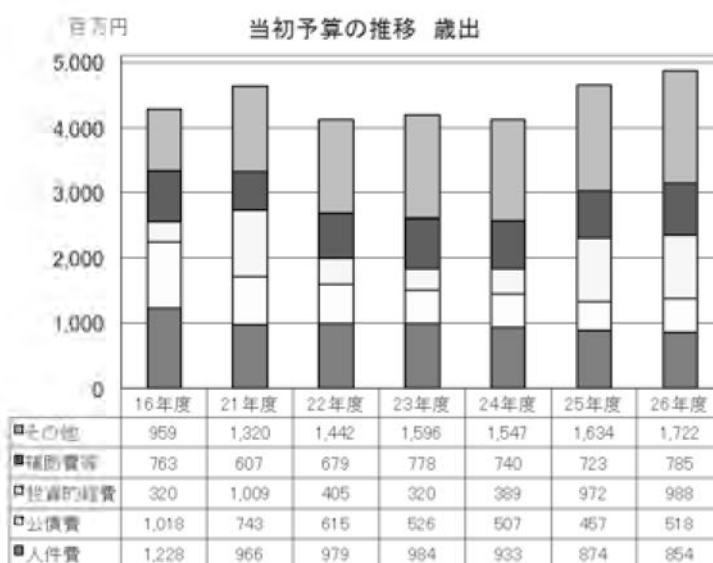
### (1) 歳入の特徴

- ・町税：個人町民税の税制改正等による増
- ・地方交付税：地方財政計画における総額の減、行政改革努力等を反映した加算措置による増、公債費残入分の増
- ・繰入金：財政調整基金繰入等の増
- ・町債：過疎債（総合交流拠点施設整備事業他）の増、臨時財政対策債の減



### (2) 歳出の特徴

- ・公債費：これまでの繰上償還による減、過疎債（統合保育園整備等）の元金償還開始等による増
- ・投資的経費：総合交流拠点施設整備事業、社会資本整備総合交付金事業等（都市再生整備事業他）の増
- ・補助費等：持家住宅建築補助金の増
- ・その他  
 扶助費：臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の増



## 2. 人件費の状況

(1) 人件費は平成 11 年度の 13 億 6,900 万円がピーク。

(単位:百万円、%、人)

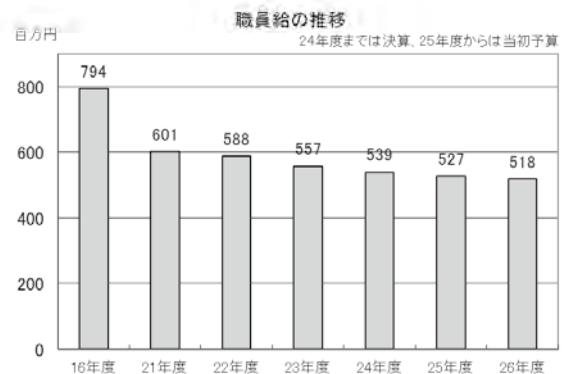
	16年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
人件費	1,192	947	949	933	933	874	854
伸び率	△3.2	△3.0	0.2	△1.7	0.0	△6.3	△2.3
職員給	794	601	588	557	565	527	518
伸び率	△2.7	△4.8	△2.2	△5.3	1.4	△6.7	△1.7
職員数	129	103	103	101	99	95	96

(24年度までは決算、25年度からは当初予算額)

(2) 職員給・職員数とも

平成 11 年度の 9 億 2 千万円、  
149 人がピーク。

職員数の削減、給料制度・諸手当の見直しによる減等により、職員給は減少している。

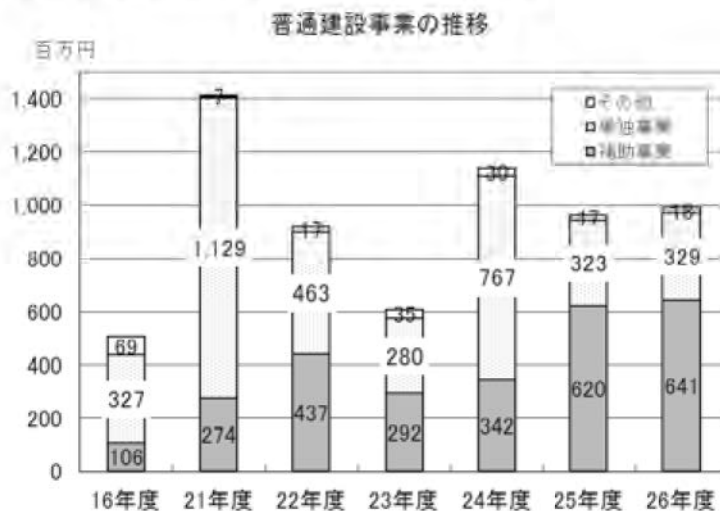


## 3. 普通建設事業（公共事業）の状況

○平成 20 年度以降は、『町民生活と地域経済を守る緊急対策』のため積極的に単独事業を実施

○施策の「選択と集中」を行う

- ・21 年度は「あさひ保育園整備事業」、22 年度は「朝日中学校耐震化改修」、「宮宿小学校体育館建設」、24 年度は「役場庁舎等耐震化改修事業」、「西五百川小学校体育館建設」、25～26 年度は「公営住宅建設」、「都市再生整備事業」、「総合交流拠点施設整備事業」のため、増となっている。



(24 年度までは決算、  
25 年度からは当初予算額)

## 4. 財政運営の健全性の維持

### (1) 健全化判断比率の健全水準の維持

平成20年度以降は、国の地域活性化・経済対策により、各種地域活性化交付金の創設、地方交付税及び臨時財政対策債の増があり、財政運営の健全化を図りつつ、積極的な『町民生活と地域経済を守る緊急対策』を実施してきた。

平成26年度も「平成26年度実施計画基本方針」に沿った施策へ選択と集中を図り、積極的に実施する。また、実施にあたっては、国県補助交付金や、過疎債等の償還金に対し後年度に財源措置のある有利な町債の活用を努める。

行財政改革や公債費の削減等で経常的経費充当一般財源の抑制を行い、財政運営の健全性を維持する。

#### ○「実質赤字比率」、「連結赤字比率」

財政調整基金残高の維持、一般会計から他会計への適切な繰出補助により、引き続き黒字決算となることが見込まれる。

#### ○「実質公債費比率」、「将来負担比率」

町債残高が増加したが、過疎債等の償還金に対し後年度に財源措置のある有利な町債の活用により、県内市町村でトップクラスの健全性を維持する。

	21年度 決算	22年度 決算	23年度 決算	24年度 決算
実質公債費比率	11.0%	9.3%	7.3%	5.5%
将来負担比率	48.9%	18.1%	—	—

○町債残高は、平成12年度の80億8千万円（減税補てん債1億8千万円を除いた現在高は79億円）がピーク。21年度以降は「あさひ保育園整備」、「朝日中学校耐震化改修」、「宮宿小学校体育館建設」、「西五百川小学校体育館建設」、「役場庁舎・町民体育館耐震化改修」、「公営住宅建設」、「都市再生整備事業」、「総合交流拠点施設整備事業」のため増となっている。

(単位:百万円)

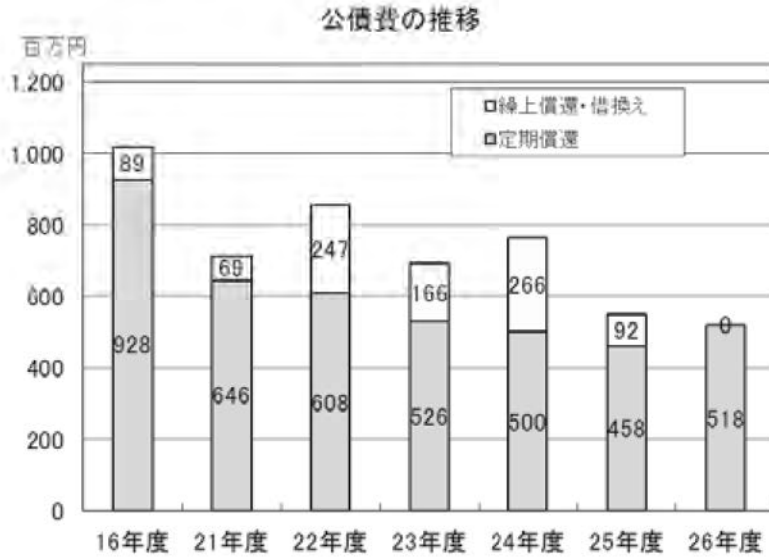
	16年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
発行額	448	1,053	665	535	1,040	725	672
臨財債・減税補てん債	264	234	273	187	174	170	161
臨財債以外分	184	819	392	348	866	555	511
町債残高	6,230	5,473	5,360	5,303	5,645	5,889	6,110
臨財債・減税補てん債	1,123	1,647	1,776	1,877	1,755	1,749	1,819
臨財債以外分	5,107	3,826	3,584	3,426	3,890	4,140	4,291

(24年度までは決算、25年度は決算見込)

※「決算統計」の記載要領に準じて計上(病院整備に充当した過疎債を除く)

○定期償還分の公債費は、平成15年度の10億2千万円（繰上償還分2億2千万円を加えた公債費は12億5千万円）がピーク。町債発行額の抑制・繰上償還により減少していたが、平成26年度は統合保育園整備等の元金償還開始により増となっている。

(24年度までは決算、  
25年度は決算見込)



○財政調整基金の年度末現在高は、平成18年度以降7億円超で推移

予算取崩額 平成25年度当初：192百万円

平成26年度当初：241百万円

(単位: 百万円)

	16年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
前年度末現在高	419	731	731	789	967	1,157	1,082
歳計剰余金処分積立額	146	127	164	210	190	188	100
予算積立額		2	2	2	2	2	2
予算取り崩し額		129	108	34	2	265	241
年度末現在高	565	731	789	967	1,157	1,082	943

(24年度までは決算、25年度は決算見込)